

Panasonic
i-PRO ネットワークカメラ WV-SFV531/SFN531
V4.80 版 リリースノート

目次

[変更履歴](#)
[ダウンロードファイルについて](#)

変更履歴

Ver V4.80ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 解像度変更、撮像モード変更を繰り返し実施すると、稀に黒画になることがある現象の改善

Ver V4.70ES

<機能追加>

- 生産工場でプリインストールされる電子証明書を「DigiCert 社」から「Global Sign 社」へ変更。本バージョンアップのみでは変更されません。セキュア通信を実施されている場合の影響などの詳細については、[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- HTTP アラーム通知機能の以下の内容の改善
 - ・Digest 認証対応
ID/PW 無しで初回アクセスし、サーバーからの応答を元に Digest/Basic のいずれかで認証する。
 - ・サーバーとのユーザー認証失敗時のシステムログ追加
認証エラー時、「<HTTP アラーム通知> 認証エラー」のシステムログを表示する。
 - ・HTTPS での送信機能
通知先に、“https://”を設定した場合、HTTPS のサーバーと判断し HTTPS でのアクセスを実施する。
- 接続方法を HTTP から HTTPS への変更する際、1 クライアントあたりのビットレートが 4096kbps を超えて設定されていた場合に、HTTPS 通信における総配信量 16Mbps 制限を考慮して自動的に 4096kbps へ変更する動作から、ビットレート設定を変えずに運用環境に応じたストリーム配信ができるよう改善。併せて、接続方法の設定画面に HTTPS 接続の総配信量 16Mbps 制限に関する注記を追加。(2021/10 記載内容一部修正)

Ver V4.30ES

(V4.00 より古いバージョンからのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- ライブ画表示の際に、稀に画像が黒くなってしまうことがある現象の改善
- Windows10 における、HTTPS 接続における再接続時の応答改善
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) 内に記載されている旧社名を新社名に変更

Ver V4.10ES

(本バージョンへのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- 音声がかたくなる現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- アラーム独自通知機能に「検知エリアNo」と「検知条件」を以下の項目に追加

- ・方向検知アラーム
- ・置き去り/持ち去り検知アラーム
- ・ラインクロス検知アラーム
- DDNS設定画面の「ダイナミックDNS Update(DHCP連携なし)」「ダイナミックDNS Update(DHCP連携)」に注記文言を記載
- バージョンアップ画面に オープンソースソフトウェア(OSS)のライセンスを表示
- SDメモリーカードの上書き録画中にログリストを開き、参照するとファイルが見つからないことがある現象の改善

Ver V4.00ES

<改善項目>

- FTP 定期送信エラー時の保存先が変更できない現象の改善
- 「ネットワーク」設定の「HTTP の最大セグメントサイズ」の設定で以下の機能を連動するように改善
 - ・HTTP アラーム
 - ・みえますねっと(アクセステスト)
 - ・みえますねっと(通知)
- セキュリティ対策の強化を実施
- サポートページ URL の変更(http→https)に伴うリンク先変更
- 録画データをログリストからダウンロードする際に、当該時刻の1つ前のログの録画データがダウンロードされることがある現象の改善
- SD カードへの JPEG 上書き録画中に削除不可能なファイルができた際に、カメラ再起動してしまうことがある現象の改善
- ログリスト画面での SD カードデータ削除時、再生画面を表示中に削除できないデータが残ることがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーNX シリーズとの接続時、稀に通信エラーが発生する現象の改善
- overRTSP 接続でネットワークが切断された後、2分以内に配信方式(H.265/H.265)の設定変更、解像度の変更を実施すると、変更完了前のストリームが配信されてしまうことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーでシーケンス運用時、映像を出力するまでに時間がかかり、黒画になってしまうことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーもしくは映像監視ソフトウェア(WV-ASM300 など)をシーケンス動作させた場合にカメラが再起動することがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーで SD メモリーバックアップされたデータをダウンロードすると、カメラが再起動することがある現象の改善
- セキュリティ強化に伴い、設定データの暗号化方式を変更
 ※Ver4.00以降でバックアップした設定データを、Ver4.00より前のバージョンで動作するカメラにリストアすることはできません。変更内容は[こちら](#)から「チラシ:新機能および補足説明について」を参照ください。

Ver V2.70ES

<改善項目>

- 映像配信(JPEG)を1年以上連続運用していた場合に、フレームレートが低下する可能性がある現象の改善

Ver V2.60ES

<改善項目>

- 工場出荷状態の初期のパスワード認証方式を「Digest or Basic」から「Digest」に変更
- 工場出荷状態の初期のパスワードの使用文字種を「英字/数字/記号」のうち2種以上を選択する仕様から「英字大文字/英字小文字/数字/記号」のうち3種以上を選択する仕様に変更
(変更に関するお知らせは[こちら](#))
- ホスト認証にユーザー認証機能を追加
- システムログにログイン失敗した履歴を表示
- 設定データを暗号化して保存するように変更
- ※ファームウェアを以前のバージョンに戻した場合、設定データがリストアできなくなりますのでご注意ください。
- その他セキュリティ対策を強化(2018/10/22 記載内容一部変更)
- プラグインソフトウェアに、[描画方式]、[デコード方式]、[ライブ画フレームスキップ表示(PC高負荷時)]を追加
- 配信量制御(ビットレート)の初期値を以下に変更
 変更前:制限なし
 変更後:51200kbps

Ver V2.58ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 独自アラーム通知のアラーム種別に以下を追加
 - ・SDカード Write エラー
 - ・SDカード Read エラー
 - ・SDカード ファイル削除エラー
 - ・SDカード ファイルシステムエラー
 - ・SDカード その他エラー
- 配信方式で「マルチキャスト」選択時、RTSP 配信はユニキャストのみだったが、その制約を廃止
- みえますねっとポータル画面のライブ画像が、「Google Chrome 64.0 for Windows」で表示できなくなる現象の改善 (2018/3/26 一部表現を変更)
- 管理者パスワードが削除されることがある現象の改善

Ver V2.56ES

<改善項目>

- ActiveX 内の旧社名を新社名に変更
- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更

Ver V2.54ES

<改善項目>

- H.264 の配信モードを変更すると、意図せずリフレッシュ間隔が 8 秒に変更されることがある現象の改善
- NTP サーバーとの時刻補正において、5 秒以内のずれでは補正されないことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダ WJ-NX400 の RTSP モード配信時に、連続運用中に配信が停止することがある現象の改善 (2017 年 5 月 記載漏れのため追記)

Ver V2.52ES

<改善項目>

- 生産工場での工程検査改善(お客様への操作、設定に関する影響はございません)

Ver V2.51ES

<改善項目>

- 被写体周辺部の解像度を改善

Ver V2.50ES

<機能追加>

- [配信量制御(ビットレート)]の選択に以下の内容を追加
10240 kbps/15360 kbps/20480 kbps/25600 kbps/30720 kbps/35840 kbps/40960 kbps/51200 kbps
- [スマートコーディングモード]に[On(Mid)], [On(High)]を追加

<改善項目>

- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更
- NTP の仕様を一部改善(ご使用については影響ございません)
- 設定画面のテキスト文字入力欄に「</script>」を入力すると、レイアウトが崩れることがある現象の改善
- 「配信量制御」を「1 クライアントあたりのビットレート」以下に設定しようとする、設定確認のアラート画面が表示される仕様だが、H.264(2)~H.264(4)の「1 クライアントあたりのビットレート」のチェック処理が抜けていた点を修正
- スマートコーディングの設定を On にし、H.264 ストリームを、SD 録画のストリームに設定すると、スマートコーディングが強制的に Off になり、リフレッシュ間隔の設定が本来 1s に戻るべきだが、内部的にリフレッシュ間隔が 8s のままとなる。その結果 SD 録画した H.264 が異常データとなることがある現象の改善
- H.264 ストリームの接続/切断を繰り返すと、カメラが再起動することがある現象の改善

Ver V2.43ES

<改善項目>

- プリンストール証明書を使用し、接続方法を「HTTPS」に設定したあと電源 Off/On すると接続方法が「HTTP」に戻る現象の改善

Ver V2.41ES

<改善項目>

- 稀に起動しないことがある現象の改善

Ver V2.40ES

<機能追加>

- HTTPS を使用する際に必要となる証明書の選択機能追加
- 改ざん検出を使用する際に必要となる証明書の選択機能追加
※上記 2 点の証明書の機能追加については、2016 年 4 月生産分以降(シリアル番号 PDxxxxxx 以降)で本機能をご使用いただけます。(1 桁目が P,Q,R***以降、および 1 桁目が P の場合 2 桁目が D,E,F,***以降)

<改善項目>

- ユーザー認証の初期値を「Off」から「On」に変更
- ユーザー名、パスワードの初期値「admin」「12345」を削除し、入力条件を「4～32 文字」から「8～32 文字(英数字の混在必須)」に変更
※すでに設定済の機器をバージョンアップしても従来のユーザー名、パスワードは削除されません。設定画面や初期化ボタンで初期化すると改めて設定が必要になりますのでご注意ください。
- 機能拡張ソフトの「顔ベストショット」機能使用時に、バッファに本来除去されるはずのノイズが蓄積され「顔ベストショット」が送信されなくなる(顔照合システムで失報が発生する)と同時にメタデータが送信され続けることがある現象の改善(2016/6/10 記載漏れのため追記)

Ver V2.02ES

<機能追加>

- [みえますねっと PRO]を統合後の新「みえますねっと」に対応
※2016 年 2 月の「みえますねっと」サービスリニューアルに伴い、「みえますねっと Pro」ご利用のお客様は、サービス終了する 2016 年 6 月 30 日まで、そのままバージョンアップすると DDNS サービスが停止しますのでご注意ください。

<改善項目>

- VMD画面、音検知画面表示中は、アラーム通知が行われないことを、それぞれの画面へ説明文追加

Ver V2.00ES

(本バージョンへのバージョンアップには、中間ファームウェア V9.99 による 2 段階のバージョンアップが必要です。詳細は[こちら](#))

V2.00 以降のバージョンでバックアップした設定データを V2.00 より古いバージョンにリストアすることはできません。あらかじめ、リストアするカメラのファームウェアを V2.00 以降にバージョンアップしてリストアしてください。(2016 年 10 月 記載漏れ追記)

<機能追加>

- [スマートコーディングモード]機能を追加
- ファームウェアのセキュリティ対応
- 設定画面の Safari/Firefox/Google Chrome 条件付対応。検証バージョンは以下です。
 - Safari: v5.34.57
 - Google Chrome: v44.0.2403
 - Firefox: v39.0.0制限事項については[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- 機能拡張ソフトの iVMD 機能の設定の上限値を変更
[変更前] 100%,150%,200%,250%,300%
[変更後] 100%,150%,200%,250%,300%,350%,400%,450%,500%,制限なし
- ユーザー設定画面でユーザー管理画面、メンテナンス画面の画面レイアウトが崩れることがある現象の改善

Ver V1.91E

<改善項目>

- ネットワーク SD カードレコーダ(WJ-SD202K)のライブ画表示で正常に表示されないことがある現象の改善

Ver V1.89E

<改善項目>

- 明暗が繰り返される環境において映像が黒画になることがある現象の改善

Ver V1.87E

<改善項目>

- 画質改善を実施
 1. 解像感改善
 2. S/N を改善

Ver V1.85E

- 初版

ダウンロードファイルについて

sfv531_***E.zip、sfv531_***ES.zip は WV-SFV531/SFN531 のファームウェアです。
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍(拡張子 bin または img に)してバージョンアップにご利用ください。

※バージョンアップの手順は、WV-SFV531/SFN531 の取扱説明書を、ご参照ください。